



広島市シニア大学院

広 報 誌

だいがくいん



令和6年度第12号（3月3日）

編集/発行 大学院自治会文化部

平成28年8月創刊

《卒業おめでとうございます》

梅の香りが爽やかに漂う春暖の候、いよいよ卒業式を迎える月となりました。少し早いですが、75名の2年生の皆さん卒業おめでとうございます。

1年の留年と5年間の学びを通して、皆さんとの充実した日時を送られたことに感謝申し上げるとともに喜びを分かち合いたいと思います。

開校50周年の年に、シニア大学院生141名で進学式を迎えて早や最後の講座日となりました。現時点での大学院生は137名、大半の方が目出度く進学、卒業です。

特別皆勤賞、皆勤賞受賞見込みの方おめでとうございます。「卒業」という響きは良いですね。達成感、友が沢山出来た喜び、そして新たな旅立ちと言うワクワク感と、我々の年齢になって、又味わえる幸福感は格別です。

5月には新しく大学から63名が進学され、総勢125名となります。令和1(平成31)年度からの大学院生は、203名、193名、172名、143名、141名、そして125名になる予定です。因みに3月の大学在籍数は362名です。大学は毎年新入を生募集し、定員400名を確保しますが、大学院生の減少は少し気になります。ただそんな中、色々な事があり、仕事しながらも皆さん頑張ってくられました。これもシニア大学と言う「心強い存在」と友との絆があればこそと、改めて感謝したいと思います。

大学運営要綱にある「高齢者としての現代感覚を身につけるとともに、地域社会における福祉課題等の理解を通し、急速に進む高齢社会を支える一員としての知識や情報を習得し、地域社会において福祉リーダー的役割を果たす」という共通意識の中、進学・卒業して行きます。

75名の卒業生のうち70名を超える方々が、学友会入会の申し込みをされたと聞き、皆さんと共に引き続き一緒にできることは素晴らしいことです。学友会に行っても、今まで通り元気に学び、ボランティアに励み、サークル活動にも出来るだけ参加しエンジョイしましょう。出来る方は地域社会への直接のかかわりの中での活動も、頑張ってください。自分らしさを見直し、時には我がまま、嫌われてもよい新たな「小さな目標に向かって」マイペースで前に進みましょう。そして皆さんに支えられることを気にせず「日々を少しだけ楽に生きてみませんか！(作者不詳)」

最後になりますが、1年間自治会の皆さま、広島市社会福祉協議会の皆さまに支えられ、役員一同何とか頑張ってくられたことに、心より御礼申し上げます。

本当に有難うございました。



令和6年度 シニア大学院 自治会会長 川本富士夫

令和6年度 2年生を送る会実施状況、計画

班	実施日		懇親会
1	1月17日	金	安芸グランドホテル
2	3月7日	金	メルパルク
3	3月10日	月	鉄板焼き「暫」(ビックフロント4階)
4	2月3日	月	SUZU CAFÉ Hiroshima (新幹線口)
6	3月17日	月	ル・ガラージュ エディオン蔦屋家電店
8	2月27日	木	梅の花(福屋広島駅前店 11F)



春季研修旅行(平櫛田中美術館、倉敷美観地区)

今回の研修旅行の行先は岡山県です。まずは20年ぶりの里帰りを果たした「鏡獅子」が展示された平櫛田中(でんちゅう)美術館を見学しました。1時間あまりの時間しかありませんでしたが、「鏡獅子」をはじめ、近代彫刻界の巨匠と知られた平櫛田中の歴史、作品に感動を覚えました。その後、「グランココエ倉敷」にて、豪華昼食を堪能したのち、倉敷美観地区を散策しました。各自グループ毎に分かれ、コーヒータイムを楽しみ、友人、家族への土産の買い物をしました。今回の研修旅行をお世話して頂いた研修部の皆様、本当にありがとうございました。楽しい1日を過ごしました。



《大学院文化部からのお知らせ》

シニア大学院広報誌である「だいがくいん」の発行を今年度は月1回のペースを目指してきました。その結果、本日配布しました、「だいがくいん」12号は今年度最後の発行となります。これまで、文化部員はもちろん、会長をはじめ、執行部、各班長、学生の皆様に多くの記事を投稿頂き、ありがとうございました。改めて、お礼を申し上げます。

又、先日配布しました「きずな」発行に際し、会長の巻頭言に始まり、昨年10月に開催された「広島市シニア大学開校50周年記念式典」にご参加いただいた、永野市社協会長の式辞、松井広島市長他、来賓の方々の祝辞を掲載しました。加えて、「五十年前の私とこれからの私」をテーマに学生の皆様から多くの投稿をいただき、50周年特集にふさわしい内容となりました。